



テクニカル・メッセージ

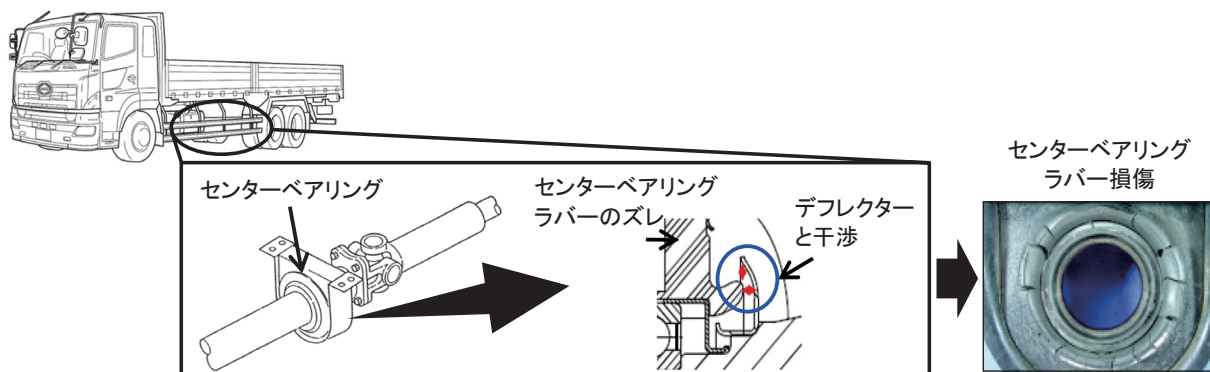
大型トラック プロフィア プロペラシャフトセンターベアリングラバー 定期点検のお願い

大型トラックプロフィアにおいてプロペラシャフトのセンターベアリングラバーは、定期点検整備項目になっています。センターベアリングラバーの亀裂及び損傷、ズレが生じたまま使用致しますと、センターベアリングの損傷に繋がり車両の継続運行に支障をきたす恐れがあります。
安全に運行していただくためにも、定期点検の実施をお願い致します。

■ 対象車両

大型トラック プロフィア

■ センターベアリングラバーの損傷事例



■ 定期点検について

センターベアリングラバーの点検整備項目は以下の通りです。(メンテナンスノート抜粋)

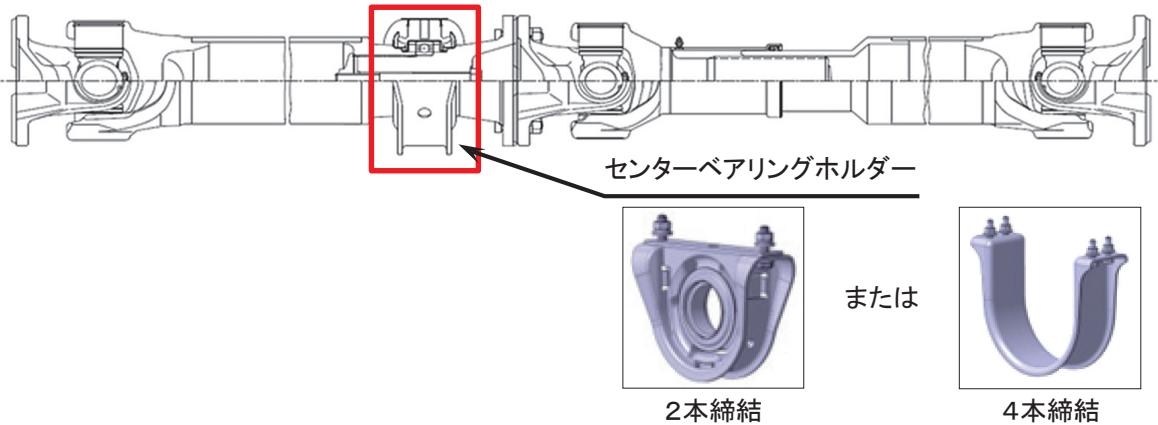
●: 法律で定められた点検時期
○: 弊社が指定している点検時期

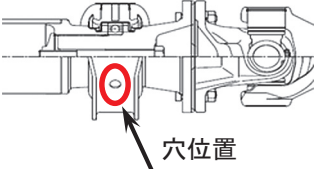
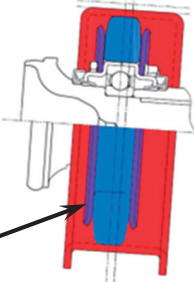
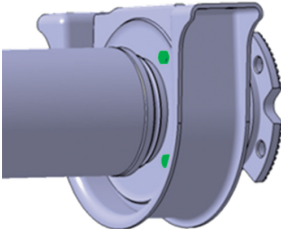
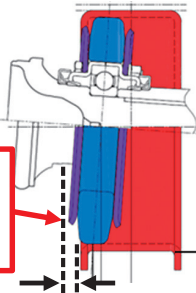
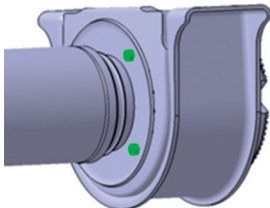
◆: 法律で定められた距離項目
◇: 弊社が指定する厳しい使われ方(シビアコンディション)をする場合の点検時期

点 検 整 備 項 目			点検整備時期					交換時期		備 考	
			日常 運行前 点検	新車点検時		事業用等			走 行 キ ロ 換 (千km)		年 ご と 交 換 (年)
				1 0 0 0 km	5 0 0 0 km	1 カ 月 ご と	3 カ 月 ご と	12 カ 月 ご と			
動 力 伝 達 装 置	電子制御式変速機	表示機、クラッチ・センサ等の作動	○				○	○		電子制御式変速機(プロシフト)付車 のみ点検	
		電磁弁、センサ等のリード線損傷、コネクタ固定等					○	○			
		コンピュータ、電気配線等のコネクタ内部錆、汚れ						○			
		電気配線グランド、センサ取付等の緩み						○			
		電磁弁、センサ等の性能						○			
	プロペラ・シャフト 及び ドライブ・シャフト	連結部の緩み			○		◆	◆		センターベアリング付車のみ点検	
		自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷						●			
		継手部のがた						●			
		センタ・ベアリングのがた						●			
		センタ・ベアリング・ラバーの亀裂及び損傷						○			
		トーションナル・ダンパーラバーの亀裂及び損傷						○	トーションナル・ダンパー付車のみ点検		

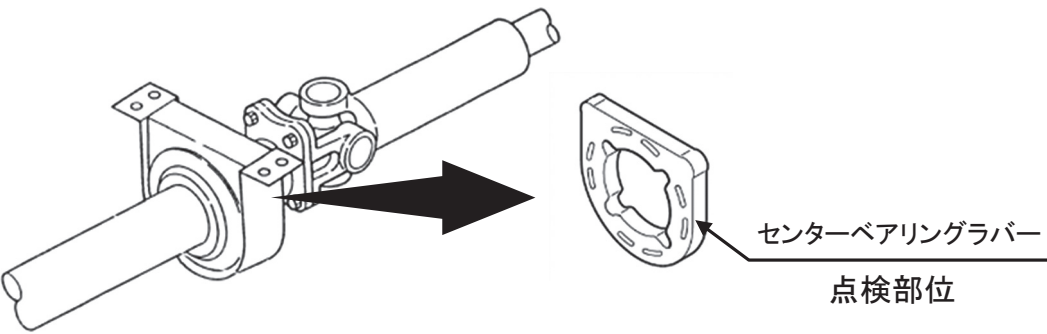
■ センターベアリングラバーに関する点検内容

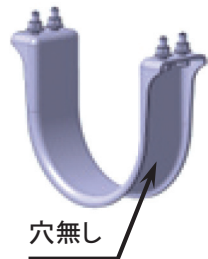
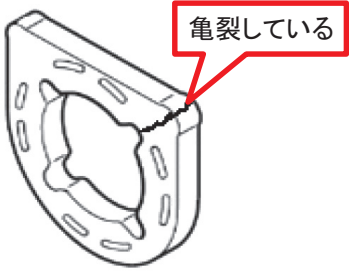
◆ センターベアリングラバー位置ズレの点検



センターベアリングホルダー締結本数	点 検 部 位	良 否
2 本 締 結	センターベアリング穴から見てセンターベアリングラバーの穴が全て見える事を確認する。  穴位置  穴部の拡大(ケース1)  穴の全体が見えているので問題ありません	○ 継続 使用可
	 穴部の拡大(ケース3) センターベアリングラバー部がズれておりセンターベアリングラバー側の穴が隠れている	× 継続 使用不可
4 本 締 結	センターベアリングプレートがセンターベアリングホルダー幅内にある事を確認する。  センターベアリングプレート 	○ 継続 使用可
	 センターベアリングプレートがセンターベアリングホルダー幅内からはみ出ている 	× 継続 使用不可

◆ センターベアリングラバーの亀裂及び損傷点検



センターベアリングホルダー締結本数	点 検 部 位	良 否
<u>2 本 締 結</u>  穴有り	センターベアリングラバー部を目視で点検し、亀裂損傷を確認する。  亀裂している フランジ組み付け状態  フランジ取外し状態	× 継続 使用不可
<u>4 本 締 結</u>  穴無し	センターベアリングラバー部を目視で点検し、亀裂損傷を確認する。   亀裂している	× 継続 使用不可

いずれかの点検結果が継続使用不可である場合、最寄の日野販売会社または整備工場に入庫していただき、対象部位の交換整備を実施していただくようお願い致します。